

オスプレイの飛行再開についての意見書

令和5年11月29日に鹿児島県屋久島の沖合で発生した米軍横田基地所属CV-22オスプレイの墜落事故に関して、羽村市議会は同年12月5日に、安全性が確認されるまでの飛行停止、事故原因の究明と再発防止を図ることなどを求める意見書を議決し、国へ送付した。その後、米軍は、全てのオスプレイの運用を停止した。

令和6年3月13日、北関東防衛局から、陸上自衛隊及び日本国内の米軍オスプレイは、3月14日以降、準備が整ったものから順次飛行を再開する旨、情報提供がなされた。

事故調査が継続中であり、詳細な事故原因や安全対策、再発防止策についての情報が十分に提供されていない中で、横田基地所属CV-22オスプレイの段階的運用を開始することは、大変遺憾であり、羽村市民は大きな不安を抱えている。

については、国に対して、以下の内容について強く求めるものである。

記

- 1 当該事故の原因について詳細な情報を明らかにすること。
- 2 安全対策、再発防止策の徹底と事故防止に万全の措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月25日

東京都羽村市議会議長 富松 崇

内閣総理大臣

防衛大臣

北関東防衛局長 あて